

平成 29 年度

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動走行システム／大規模実証実験／次世代都市交通／ART 運行関連情報のデータ集約・蓄積と ART 利用者等への情報提供の仕組み構築及び大規模実証実験の実施・管理」

報告書

平成 30 年 3 月

日立製作所・パシフィックコンサルタンツ・計量計画研究所

本報告書は、内閣府の平成２９年度科学技術イノベーション創造推進委託費による委託業務として、日立製作所・パシフィックコンサルタンツ・計量計画研究所が実施した平成２９年度「戦略的イノベーション創造プログラム（ＳＩＰ）自動走行システム／大規模実証実験／次世代都市交通／ＡＲＴ 運行関連情報のデータ集約・蓄積と ＡＲＴ 利用者等への情報提供の仕組み構築及び大規模実証実験の実施・管理」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の著作権は、内閣府に帰属しており、本報告書の全部又は一部の無断複製等の行為は、法律で認められたときを除き、著作権の侵害にあたるので、これらの利用行為を行うときは、内閣府の承認手続きが必要です。

目 次

第 1 章	事業概要	1-1
1.1	事業目的	1-2
1.2	事業概要	1-3

第1章 事業概要

1.1 事業目的

ART（次世代都市交通システム）の速達性を向上させる高度化 PTPS（公共交通優先交通システム）及び歩行者移動支援システム等の実証実験を通じた仮説の検証を行い、有効性を訴求することにより、以下を実現する。

- **Next step ART** 技術の社会実装に向けた社会受容性の醸成
- 高齢者、障がい者を含む幅広い利用者にとって便利で使いやすい公共交通の実現へ向けた利便性やアクセス性（物理的、情動的）の向上及びこれらによる利用転換の促進

1.2 事業概要

上記研究開発目的を達成するために、下記研究開発項目を実施する。

- a. ART 運行関連情報のデータ集約・蓄積と ART 利用者等への情報提供の仕組み構築
- c. 大規模実証実験の実施・管理

以下、事業概要を述べる。

a. ART 運行関連情報のデータ集約・蓄積と ART 利用者等への情報提供の仕組み構築

ART の運行状況等に関する情報を集約・蓄積、ART 利用者等へ情報提供や移動支援を行う「ART 情報センター機能」実現に向け、所要の課題整理や情報生成技術の開発等を行う。また、周辺の公共交通機関の運行情報等との連携による運用・管理方法やインターフェース等の要件整理・検討を行うとともに、ART 情報センター機能が収集・提供するデータの利活用について検討する。

研究開発項目 a では、大きく以下の 4 項目についての検討・開発・実証検証を行う。

- ① ART 情報センター機能の開発及び実証検証
- ② 高度化 PTPS の活用による ART 速達性向上の実証実験
- ③ 混雑予測及び混雑回避誘導手法の検討及び実証実験
- ④ ART 利用者歩行アクセシビリティ支援

これらの項目では、平成 29 年度にプレ実証・試験運用を、平成 30 年度に実証実験をそれぞれ行う。実証実験は、研究開発項目 c と密に連携し推進する。

c. 大規模実証実験の実施・管理

大規模実証実験の実施計画立案、道路管理者や住民などの利害関係者への交渉、実施及び実験結果の取りまとめ並びに実験参加者募集、管理等を行う。

研究開発項目 c では、大きく以下の 5 項目を実施する。

- ① 大規模実証実験実施の全体取りまとめ
- ② ステークホルダーに対する成果体験会実施の全体取りまとめ
- ③ ART 情報センター機能の開発及び実証検証
- ④ 高度化 PTPS の活用による ART 速達性向上の実証検証
- ⑤ ART 利用者歩行アクセシビリティ支援

研究開発項目 a で実施する ART の速達性を向上させる高度化 PTPS、歩行者移動支援システム等の各項目、及び「b. 次世代都市交通システム正着制御に係るセンシ

ング技術や制御技術の実用化」(以下、研究開発項目 b)と連携し、次世代都市交通としての全体の整合を図りながら大規模実証実験、及び成果体験会の実施を支援する。

本事業は平成 29 年度から平成 30 年度の 2 ヶ年事業であり、以下の項目立てにて、平成 29 年度実施内容について述べる。

第 2 章 ART 情報センター機能の開発及び実証検証

(研究開発項目 a①及び研究開発項目 c③)

第 3 章 高度化 PTPS の活用による ART 速達性向上の実証実験

(研究開発項目 a②及び研究開発項目 c④)

第 4 章 混雑予測及び混雑回避誘導手法の検討及び実証実験

(研究開発項目 a③)

第 5 章 ART 利用者歩行アクセシビリティ支援

(研究開発項目 a④及び研究開発項目 c⑤)

第 6 章 大規模実証実験の実施・管理

(研究開発項目 c①及び②)